

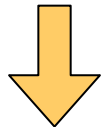
抽出率約30%程度とする考え方

学校単位でのランダム抽出

同一学校同一学年で、抽出対象となる学級とならない学級が生じないよう、学校単位でまとまって対象とすることにより、円滑な実施が可能となる

ある程度の都道府県別比較が可能な精度

95%の確率で、各都道府県の平均正答率が、誤差1%以内となるよう、各都道府県ごとに抽出数を設定



統計上信頼できるデータ

全国の抽出率(約30%程度)

〔 小学校約25%、中学校約44%
小中加重平均約32% 〕

全国の抽出数は、各都道府県単位の抽出数の総計。都道府県毎に抽出率は異なる

※行政刷新会議の「事業仕分け」における「抽出対象の絞り込み」という評価結果等を踏まえ、抽出対象を絞込んだところ(調査の精度は、上記の精度を維持)



都道府県別の学力等の状況の把握

〔 学力等の状況の変化、新しい傾向
これまでの取組の成果を検証 〕

特に、地方の教育施策において、財政、人事等の面で大きな役割を果たしている各都道府県教育委員会が、全国的な状況との比較もしながら、域内の教育改善に取り組むことが可能となるようなデータを得る

抽出調査の対象学校の選定方法について

ある程度の都道府県別比較が可能な精度

95%の確率で、各都道府県の平均正答率が、誤差1%以内となるよう、各都道府県ごとに抽出数を設定



統計上信頼できるデータを得ることができる抽出数

学校規模別に抽出調査の対象学校数を割当て

抽出の結果によっては、特定の規模の学校に抽出対象校が偏り、精度が下がる可能性があるため、学校を学級数を基にして小規模・中規模・大規模のグループに分け、それぞれのグループ毎に抽出学校数を割当てる



学校規模別に無作為抽出

学校規模別のグループの中から、乱数を用いて無作為抽出を実施

〇〇県

グループ毎に無作為に抽出

